



北東中だより

甲府市立北東中学校
令和6年3月22日
文責 竜澤 規之
NO.13 (3月号)

第62回卒業証書授与式

また今年も90名の北東中学生がこの学び舎を巣立っていきました。3/11(月)甲府市教育委員会教育総室長様、北東中学校運営協議会の皆様のご臨席を賜り、保護者の皆様も見守る中、厳かな中にも温かみのある卒業証書授与式が盛大に執り行われました。

この3年間に培った様々な経験、仲間との友情を礎に、この北東中の生徒であったことに誇りを持ち、これからさらに複雑化、多様化する社会に雄々しく生き抜いてほしいと願います。卒業生に幸あれ!

卒業生代表「門出の言葉」

武田通りの桜の木々が、花開こうと準備を始めています。そして3月11日。東日本大震災から13年が経ち、日本中が深い祈りに包まれる今日、僕たち3年生89名は北東中学校を卒業します。長かったようで短かったこの3年間は新型コロナウイルスという存在に苛まれてきた3年間でもありました。マスクをつけてお互いの顔もわからないまま迎えた入学式。仲のいい友達と会うことができなかつた分散登校。黒板に向かって無言で食べた静まり返った給食の時間。このまま卒業を迎えてしまうのではないか、そんな不安に襲われたことを今でも覚えています。それでもみんなで一つ一つの壁を乗り越え、深く心に刻まれる思い出をたくさん作ってきました。

中止になった野外活動や職業体験の分まで思いっきり楽しんだ修学旅行。壮大な奈良の大仏や阿修羅像、金閣寺に銀閣寺。清水寺の上から見た青くすんだ美しい空と新緑の山々。歴史ある京都奈良の景観に心を奪われました。家族の顔を思い浮かべながらお土産を選んだことも、ホテルで友達と一晩中語り合ったことも、バスでカラオケ大会をしたことも忘れられない思い出です。新たな伝統を作り上げるために全力で取り組んだ二葉祭。準備段階では時に喧嘩したり揉めたりすることもありました。それでも本番では全員心が一つとなり、文化部門、体育部門ともに、かつてない盛り上がりを見せました。全校生徒による個性あふれる圧巻のパフォーマンス。スタートと同時に逆走し、大爆笑をかっさらったかと思えば、転んでしまったアンカーに駆け寄ってみんなで激励を送ったりで、誰一人かけても成り立たなかった感動と興奮に溢れたこのお祭りは史上最高であったと胸を張って言えるものになりました。

修学旅行や二葉祭、部活動や合唱祭。忘れられない行事はたくさんありました。だけど、僕たちが最も成長できたのはきっとそれらの行事の時ではなかったのではないかと、僕はそう思っています。グラウンドを駆け回って制服を汚した昼休み。眠い目をこすった授業中。バカ騒ぎした帰り道。笑顔あふれた何気ない日常がきっと僕たちを最も成長させた大切な時間だったのです。

「人生とは偶然でも必然でもなく選択の連続である。」これは僕の大好きな小説の言葉です。これからきっと僕らの人生には様々な選択がつかまといまいます。人間関係や進路、悩みに悩むことがあります。でも人生の選択にテストや入試のような決まった正解はありません。他人に何かを義務付けられる必要もありません。胸を張って、「今幸せだ」と言える人生こそ自分にとっての正解なのです。だからこそ、僕たちは夢や希望を抱く権利、心躍る選択を大切にしていきたいです。

僕たちの見習うべき存在だった先生方、支えてくれた1、2年生の皆さん、そして誰よりも近くで僕たちを見守ってくれたお父さん、お母さん。今まで本当にありがとうございました。これからは答えのないそれぞれの違った全89通りの人生を、自分自身の正解を信じて、一步一步力強く進んでいきます。

そして最後に3年生のみんな。小さい頃からずっと一緒だった僕らは、この春初めて離れ離れになります。でもどんなに小さな川も、最終的には大きな川に集まり、海に向かって一つになります。僕たちが胸を張れる正解だと信じ、正解だと自信を持って言える人生を送っていれば、川と同じように、一つの場所におのずと集まってきて、いつかきっとまた出会える。僕はそう思っています。だから、さようならの代わりに、帰り道何気なく言っていた言葉を送ります。またね。

6年3月11日 卒業生代表 岩崎凜太郎

学校に寄せられた「ステキな話」(3/2)

先日、校長あてにお電話がありました。元紺屋の交差点で信号待ちしていた方からです。その日は風が強く、集積場のゴミ袋が風に舞ってその交差点の道路上に落ちてきたのだそうです。当然、道行く車はそのゴミ袋を避けながら横切っていったのですが、その時、交差点で待っていた本校の女子生徒がわざわざ自転車から降り、そのゴミを集積場まで運んでくれたのだそうです。連絡をくれた方はその様子を見て「今の時代にもこんなステキな子がいるんだ」と感心し「北東中生ではないか」ということで学校に電話してくれたというのです。確認すると2年生Yさんでした。本当に嬉しい、校長として誇らしいお電話でした。

3年生に贈る会が盛大に！(3/6)

年度の最後を飾る大きな生徒会行事が本校体育館で盛大に開催されました。1, 2年生が心を込めて準備した「3年生に贈る会」。在校生の心のこもった合唱、趣向を凝らした演出があり、卒業生からも感謝の合唱がありました。会の最後には在校生の応援エール、卒業生の返礼エールもあり、心温まる楽しいひとときとなりました。



祝 卒業



4月の予定

8日	月	入学式
9日	火	始業式 新任式 対面式
10日	水	新入生歓迎会 給食開始
11日	木	甲教協 避難訓練 地区別集会
12日	金	到達度(NRT)テスト
15日	月	授業参観 学級懇談会 学年部会総会
16日	火	認証式 交通安全集会
18日	木	全国学力・学習状況調査(3年)
19日	金	部総会
22日	月	学校創立記念日
23日	火	学校運営協議会 PTA 新旧役員会
24日	水	代議員会
25日	木	教育相談日
26日	金	教育相談日
29日	月	昭和の日
30日	火	教育相談日

3.11を忘れない ～防災の常識・非常識～

2011年3月11日。死者・行方不明者18,000人以上。今なお多くの傷跡を残す東日本大震災。我々は学ばなければなりません。

■災害伝言ダイヤル171をご存じですか？

■地震の時にはまず「火を止める」？

プロパンガスも都市ガスも、通常、室外にガスメーター(マイコンメーター)が設置されており、震度5強相当以上の揺れを感知した時は、ガスメーターが自動的にガスを遮断します。

■地震の際、無理に火を止めようとして火傷を負うケースも多く、油使用時は特に危険です。地震の揺れは、多くの場合、短時間でおさまります。「まず火を消す」ではなく「まず身の安全を確保する」が、今の常識とされています。